

2008年(平成20年)9月22日(月曜日)

(第3種郵便物認可)

廃線トンネルの再活用

春日井で赤れんがシンポジウム

JR高蔵寺―多治見駅間の廃線路跡の再活用に取り組んでいる春日井市の市民団体「旧国鉄トンネル群保存再生委員会」は二十一日、同市浅山町の市総合福祉センターで「赤れんがシンポジウム」を開いた。約百五十人が産業遺産としての活

150人が方法考える

用方法などを考えた。シンポジウムでは元文化庁調査官の長谷川良夫さんや、赤煉瓦倶楽部半田の永田創一副理事長、中部大の中藤康俊教授らが登壇した。

長谷川さんはトンネル群について「保存状態が良く見応えがある」と評価。半田市でれんが造りの元ビール工場を観光施設として保存活用している永田さんは「ほかの団体とのネットワークづくりが活動を発展させる」とアドバイスした。

トンネル再生委の村上真善事務局長は、線路跡の敷地を市民からの寄付金で買い取る構想も示し「市民の手で地域の財産を守っていききたい」と話していた。

(小野沢健太)



トンネル群の保存活用について意見を交換したシンポジウム＝春日井市で